

医療法人 和同会 防府リハビリテーション病院

リハビリテーション科 学会内容/学術発表⑤

5. 学会名 ; 第 35 回 山口県リハビリテーション研究会 演題発表(二題)

【開催地】 山口大学医学部第三講義室

【日時】 2019 年 11 月 10 日

【演題名】①当院における回復期・慢性期での心臓リハビリテーション立ち上げの経験と現状について

～重度肺高血圧症を呈した高齢慢性心不全患者の自宅退院の経験を踏まえて～

発表者：岡 大樹

②アーチ高率の保持に着目したインソールの使用効果の検証

～足趾把持力と下肢筋力および身体の柔軟性と重心動揺への影響について～

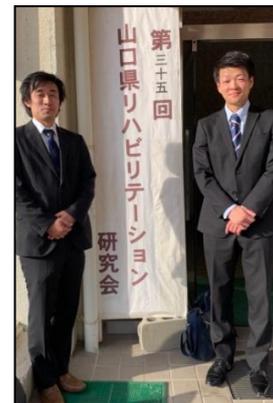
発表者：吉田 豊

①当院では 2018 年 1 月より回復期・慢性期の患者に対する心大血管リハビリテーションを開始しました。開設から 2019 年 6 月までの入院患者において心不全が 8 割で最も多くの割合を占めており、女性が全体の 6 割といった結果でした。今回は自宅退院した高齢心不全患者の一例を発表し、現在も週 1 回の外来心臓リハビリテーションに繋が、心不全を再発させることなく経過しています。今後も他職種での包括的介入により、地域の心不全患者の再発予防に尽力していきます。

②本インソールは、足部のアーチ高率を一定に保つ特徴があり、腰痛や膝関節痛の軽減に数多く効果が報告されていました。この度の研究発表では、本インソールの使用が筋力や身体の柔軟性にいかに影響を及ぼしているかを検証しました。この度の報告では、A P A 作用が作用し、筋力や身体柔軟性へ良い影響を与えたのではないかと考えられました。今後は、臨床現場での様々な疾患へ対しても効果の検証を行いながら応用して参りたいと思います。

二演題に対しての様々な御質問も頂きました。当院での心大血管リハビリテーションは、さらに地域に根差した常に質に向上行い、さらに当院の心臓リハビリテーション指導士や三学会合同呼吸療法認定士の専門性を十分に生かしながら実践していきたいと思えます。足部のアーチ高率を保持したインソールの使用は、スポーツ現場でも多く使用されており、更に医療現場においても有効性の高い効果が得られるのではないかと考えます。

心大血管リハビリテーションと新構造のインソールの効果に関する発表や論文投稿を今後も継続して参りたいと思えます。



【特別講演】 『神経再生医療とロボットリハビリテーション』

広島大学大学院 医系科学研究所 生体環境適応科学 教授

広島大学 宇宙再生医療センター センター長 弓削 類先生